

呉市立横路中学校 総合的な学習の時間 学習指導案

単元名：地域とわたしⅠ

指導者 馬野 奈緒子

1 日時 令和4年11月2日(水) 6校時(14:30~15:20)

2 学年 第1学年4組(男子19名,女子17名,計36名)

3 場所 1年4組教室

4 単元について

【単元観】

○ 本単元は、本質的な問い「私たちは、地域とどう関わり、どう生きるのか。」を基に、地域の良さに気づき、愛着を深めることを目的として設定したものである。ふるさと呉について改めて調べ、呉の魅力を自分たちの言葉で発信するプレゼンテーションを行うことで、聞く人に呉の魅力を伝え、「見てみたい、食べてみたい、行ってみたい」という気持ちをもたせることを目指す。その過程で、自分たちも呉の魅力を再発見できるものとする。

前単元において、呉の魅力を発信する新聞を個人で作成している。本単元においては、個人が見つけた魅力を分析したり、統合したりして、自分たちの伝えたい魅力をグループで1つ決め、その魅力を発信するプレゼンテーションを作成していく。予め、伝えたい魅力を核としてもっておくことで、要旨のはっきりとした分かりやすい発表になると考える。

本単元を行うことで、呉の魅力を、呉を知らない人にも自分の言葉で効果的に発信していくための契機としたい。また、自分たちの地域がよりよいものになるように考えるきっかけとし、地域・社会に貢献する態度を育むものとする。

【生徒観】

○ 本学級の生徒は、好奇心旺盛で、いろいろなことに挑戦する生徒が多い。挨拶や返事がきちんとしているところや無言掃除を実施しているところなど、横路中学校のよさを自覚し、それを引き継ごうとする気持ちをもっている。一方で、自分たちの課題を見付け、改善していこうとする気持ちは弱い。

また、単元前のアンケートでは、「呉の町が好きですか。」に対する肯定的回答が75.0%であり、概ね好感情を抱いている。一方で、「呉の町のことを知っていますか。」に、「よく知っている。」と回答したのは、14.2%に止まり、39.3%が「あまり知らない。」と回答している。このことから、呉の町のことは好きだけれども、その歴史や魅力について具体的に説明することはできない実態があることが分かった。

【指導観】

指導にあたっては、本中学校区の研究主題「論理的思考力の育成」に向けて、以下の点を工夫し「学び合い」のある授業づくりを目指していく。

まず、主体的な学びとなるように「自分たちの地域を見つめ直し、地域の良さの情報を収集し、皆に伝えよう。」という単元全体を通してのゴールを設定する。伝えたい内容をまとめ、分かりやすく伝えるためにどのように工夫をするかを、グループで協働しながら考えさせる。【課題設定の工夫】

課題解決に向けて多様な解決方法があり、個人思考から集団思考へ問題を共有し、協働で学び合うことで、よりよい解決策へと展開できることを気付かせたい。また、根拠を基に様々な意見を出し合うために、互いの意見が伝えやすい場面設定や他者の意見を尊重する態度を育成することも大切である。【学び合いのある授業展開】

5 単元の目標

呉の魅力を発信するプレゼンテーションを行う活動を通して、呉の歴史や自然、人の営みが呉の魅力を生み出していることを理解し、その魅力を分かりやすく効果的に発信する方法を考えるとともに自分たちの地域に積極的に貢献しようとする態度をもつことができるようにする。

6 単元の評価規準

| ア 知識・技能 | イ 思考・判断・表現 | ウ 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|--|---|
| <p>① 呉の魅力について、歴史や文化、人の営みが土台となって、形作られていることを理解している。</p> <p>② 呉の魅力を見つけるための調査を対象に応じた適切な方法で実施している。</p> <p>③ ふるさとである呉の魅力を探求し続けたことによって、自分の行為が地域社会に貢献していることに気付いている。</p> | <p>① 呉の魅力を分かりやすく、効果的に発信するための方法を明らかにし、見通しをもって計画を立てている。</p> <p>② 呉の魅力として発信するために、効果的な手段を選択し、正確で意味のある呉の情報を収集している。</p> <p>③ プレゼンテーションの作成や改善に向けて、多様な情報を整理し、考えている。</p> <p>④ 聞き手に「見てみたい、食べてみたい、行ってみたい」と思わせるために効果的な表現をしている。</p> | <p>① プレゼンテーションを聞いた人からのアドバイスを受け入れ、尊重しようとしている。</p> <p>② グループで協働して、プレゼンテーションの作成、改善を行おうとしている。</p> <p>③ 呉の魅力を実生活のなかでも見付けようとしている。</p> |

7 指導と評価の計画（全12時間）

| 次 | 時 | 過程 | 学習活動 | 評価規準 | 評価方法 |
|---|------------------|------------------------------|---|----------|----------------|
| 一 | 1 | 課題の発見 | <p>○「学年発表会」で自分たちの地域について紹介することを知り、課題の設定をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>課題 1年生の総合的な学習の時間では、「地域とわたし」というテーマで学習をします。自分たちの地域を見つめ直し、地域の良さの情報を収集し、学年発表会で発表をします。自分たちの地域をわかりやすく伝え、プレゼンを聞く人に、「見てみたい、食べてみたい、行ってみたい」と思わせる発表を作っていきましょう。</p> </div> | ア① | 行動観察 ワークシート |
| | 2 | 課題の設定 ① 情報の収集 | <p>○前単元に個人で作成した「新聞」をもとに、グループ内で発表を行う。</p> <p>○それぞれの発表を聞いて、自分たちのグループ発表で伝えるイチオシの魅力を決める。</p> | イ② | 行動観察 ワークシート |
| | 3 4 5 6 | 整理・分析 | <p>○収集した情報について整理・分析する。</p> <p>○伝える相手を意識して、収集した情報を伝えるための工夫を考える。</p> | イ③ ウ② | 行動観察 ワークシート |
| | 7 | 創造・表現・振返 | <p>○2クラス合同で、グループごとに発表する。他のグループは発表を聞き、工夫しているところと良くないところを指摘する。</p> | イ④ | 行動観察 ワークシート |
| 二 | 8 | 課題の設定 ② 情報の収集 整理・分析 | <p>○自分たちの地域の良さが伝わるように、生徒のアンケートや意見をもとに、改善点を見つけ、改善の方法を整理する。 (本時)</p> | イ③ ウ① | 行動観察 発表 |

| | | | | | |
|---|----------|------------------|---|----------|----------------|
| | 9 | 創造・ 表現・ 振返 | ○パワーポイントや資料，原稿など改善する。 | イ① ウ② | 行動観察 ワークシート |
| | 10 | | ○グループごとに学級で発表し，発表会で発表するグループを決める。 | イ④ | 行動観察 ワークシート |
| 三 | 11 12 | 表現・ まとめ | ○発表会で発表する。 ○振り返りを行い，自分たちの地域の良さを呉を知らない人に発信するために，自分たちができることを考える。 | ア① ア③ | 行動観察 |

8 本時の学習（本時8／12）

（1）本時の目標

アンケートや意見を分析して，効果的なプレゼンテーションの改善方法を整理することができる。

（2）評価規準

プレゼンテーションの作成や改善に向けて，多様な情報を整理し，考えることができる。

【思考・判断・表現】

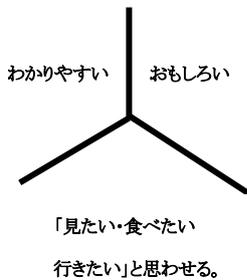
プレゼンテーションを聞いた人からのアドバイスを受け入れ，尊重しようとしている。

【主体的に学習に取り組む態度】

（3）学習展開

| | 学習活動 | 指導上の留意点（○） 「努力を要する」状況と判断される生徒への手立て（●） | 評価規準 (評価方法) |
|------|-------------------|--|----------------|
| 課題設定 | 1 課題解決の見通しをもつ。 | ○ どのようにして改善点を見つけていけばよいか確認する。 自分たちのプレゼンをよりよくしたい，と思ったときに，何を改善するかをどうやって見つければよいと思いますか。 ○ グループでアンケートを確認させる。 ○ 自分たちが伝えたかったことや工夫が聞き手に伝わっていたかを確認させ，ズレに気付かせることで課題意識をもたせる。 | |
| | 2 本時のめあてを確認する。 | めあて アンケートや意見を分析してプレゼンの改善方法を整理しよう。 | |
| 個人思考 | 3 改善点と方法を考える。(個人) | ○ 改善の視点を意識させる。 自分たちのグループのプレゼンをどんなプレゼンにしていきたいですか。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・イチ押しの魅力をはっきり伝える。 ・分かりやすい。 ・おもしろくて楽しい。 ・「見てみたい，食べてみたい，行ってみたい」という気持ちにさせる。 </div> ○ 伝えたかったことと伝わっていたことのズレや，アンケートの指摘からどのように改善するかを考えさせる。 ○ 改善点と改善方法をセットで付箋に記入させる。 | |

4 改善点と方法を吟味する。
(グループ)



5 グループの改善方法を発表する。

一人一人が考えた改善点と方法を整理していきましょう。次の時間から2時間で、実際に改善をしていきます。みんなが書いた改善点はどれも直していく必要のあるものだと思うけれど、2時間で直していくことが決まっています。また、直すと劇的によくなる改善点も中にはあるはずですよ。

これから、どの点について自分たちのグループが重点的に改善するか、決めていきます。どれを重点とするかは、迷うと思います。そこで、先ほどの3つの視点を活用してみましょう。3つの視点をバランスよく直していくことで、よりよい発表になると思います。また、自分たちのプレゼンが何を指すかで、どの視点の改善を重点とするかも決まってくるかもしれません。

話し合いのあと、どんなふうに改善をしていくかを、3つずつ聞いていこうと思うので、重要だと思う改善点を、3つ決めてください。

- 改善のための時間は2時間であることを意識させる。
- 改善の視点「わかりやすい」「おもしろい」「『見たい、食べたい、行きたい』と思わせる」の3つのゾーンにわけて、整理させる。
- 自分たちの目指すプレゼンにするための改善をグループで3点選ばせる。
- 付箋が貼られない視点があれば、その場で考えて貼るようにさせる。
- 個人で考えた改善方法をただ受容するだけでなく、お互いの考えを尊重させながら議論できるようなサポートをしていく。

学び合い①

- グループの具体的な改善方法を3つ選んで、全体で発表させる。
- 自分のグループでも活用できるアイデアがあるか、意識させながら聞かせる。

学び合い②

イ③
プレゼンテーションの作成や改善に向けて、多様な情報を整理し、考えることができている。
(行動観察・発表)

ウ①
プレゼンテーションを聞いた人からのアドバイスを受け入れ、尊重しようとしている。
(行動観察)

| | | |
|------|---|---|
| 振り返り | 6 振り返りをし、次時の確認をする。 | ○ ふりかえりポイント⑥とし、今後何かを改善するときに、今日学習したことの中から、活かせそうな方法や考え方をワークシートに記入させる。 |
| | <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">振り返りの例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人に見てもらって指摘してもらおうと自分が気づいていなかったことを直せる。 ・いくつかの方法から選ぶとき、効果や効率を視点に考えるとよさそうだ。 ・改善というと堅苦しいが、自分が考えたことをよりよくしていくと考えると楽しくできると思った。 </div> | |
| | | ○ 次時は、プレゼンの改善を実際に行うことを伝える。 |

9 板書計画

めあて アンケートや意見を分析して、プレゼンの改善方法を整理しよう。

○ 改善の視点

- ・イチ押しの魅力が確実に伝わる。
- ・わかりやすい。
- ・おもしろい。
- ・見たい・食べたい・行きたいと思わせる。

○ 改善方法の整理

わかりやすい

「見たい・食べたい
行きたい」と思わせる。

おもしろい

1班 スライドの字を大きくする…

2班 話す順番を変える…

3班 イチ押しの魅力を発表で何回も繰り返す…。

4班 ゆっくり話す…

5班 話とプレゼンソフトのスライドのタイミングをあわせる…

6班 スライドに字が多すぎたので、短い言葉でキャッチーに表す。